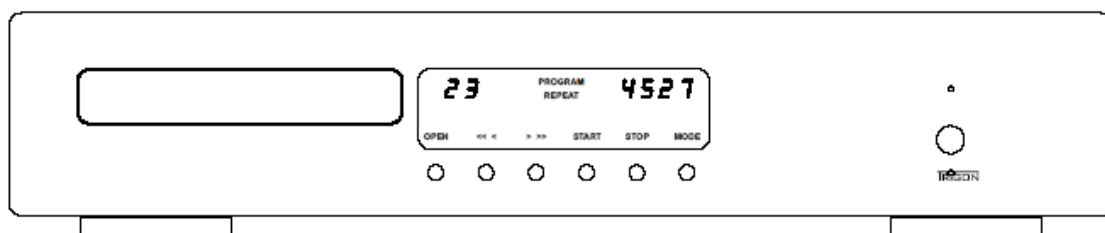
OPERATING INSTRUCTIONS

FOR CD-PLAYER

TR-CD2

目次

1 はじめに

この度は、TRIGON TR-CD2 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は、最新の精密技術を実現するために、厳重な品質管理のもとに製造されております。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また本取扱説明書は、なくさないよう大切に保管ください。

2 特長

TR-CD2 は、音色や物理特性のみならず、部品構成や装置の意匠に関しても高い要求を満たす CD プレーヤーです。新たに採用した Stream Unlimited 社製の CDドライブメカニズムは、高品質なスチール製のメカブロック上で外乱に左右されない正確な読み取りを行ない、D/A 変換の心臓部には Burr Brown 社製の D/A コンバータチップ(24bit/192kHz 対応)を使用しています。

D/A 変換の要となるクロック技術は、高精度な発振器を使用するだけでなくデジタル系の全体を測定・解析し、有害なクロックジッタを可能な限り少なく保つようにしています。また、急峻な出力フィルタは、音声信号への折り返し(20kHz 以上の信号がエイリアシングイメージとして発生する)を効果的に防ぎます。

内部動作に必要な電流は、メイン電圧の大変動時にも電流を安定して供給するスイッチングパワー・サプライによって確実に供給されます。そのため、従来の電流供給では発生が不可避だったトランスによるうなり音も発生しません。

2mm 厚の頑丈な鋼板のシャーシには、様々な要因による微細な振動が、敏感なエレクトロニクス部品の動作に支障をきたすことがないように部分的に吸収マットが並べられており、また、円板バネのように機能するインシュレータによって筐体は支持されています。

CD ドライブは通常の CD 再生が可能です。 また、74 分以内で収録された CD-R/CD-RW の再生も可能です。しかし、書き込み品質が劣る CD-R などの場合は音とびが発生するかもしれません。

付属のリモコン(TRIGON DIRECTOR)によって、TRIGON の他製品同様、操作する事が可能です。

2.1 安全について

本製品を安全に正しくお使いいただくためにも、下記に記載してあることを厳守してください。

- 本体に強い衝撃や振動を与えないで下さい。
- 寒い場所から暖かい場所へ移動した直後に、電源ケーブルを本体に接続しないで下さい。結露などにより内部機構部品を損傷してしまう恐れがあります。本体が室温近くに温まるまでしばらくお待ち下さい。
- 直射日光などが当たる場所を避けて下さい。
- 換気が十分出来る場所に設置して下さい。
- 液体の入った容器を本体近辺に置かないで下さい。本体内部に液体が入った場合、火災、感電の原因となります。
- 本体を暖房器具のそばには設置しないで下さい。

不適切なお取扱いによる損傷については、保証の対象外となりますのでご注意下さい。

2.2 設置について

開梱するときには、本体に輸送時の破損が無いことをお調べください。万一破損を発見された場合は、お買い上げ販売店か弊社へご連絡ください。開梱後は、本体のほかに下記の内容物が入っているかどうかを確認してください。

<u>梱包物の確認</u>

- 電源ケーブル
- 電源 3P 変換アダプタ
- 本取扱説明書
- 保証登録書
- リモコン(DIRECTOR)
- デジタル出力用ターミネータ(デジタル出力を使用しない時にご使用ください)
- 単 4 電池 2 本
- リモコン開閉用六角レンチ

※ アフターサービスもしくは無償修理ご利用の際に安全にご送付いただくために、そして移動時の損傷を防ぐためにも、保証登録書と共に本製品納入時の梱包箱を大切に保管して下さい。

取扱いに関する注意事項

- 本体カバーを外した状態で動作させないで下さい。
- 不良フューズを交換する際には、必ず同タイプのオリジナルフューズをお使い下さい。
- ご自分での修理や改造、又は分解はお控え下さい。無理な修理等が原因で発生した故障については、保証しかねます。
- ケーブル接続の際には、必ず本体の電源を落として下さい。

2.3 保証とサービスについて

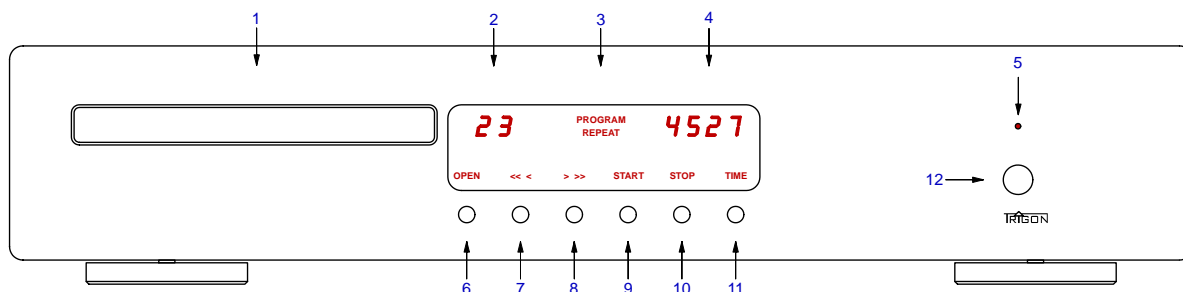
正しくお使いいただいているなかで、万一 TR-CD2 が故障してしまった場合は、購入より2年間の保証をいたします。しかし、弊社サービス以外による内部の修正や、シリアル番号、購入日の改ざんなどが認められた場合の保証は認められません。

3 スタートアップ

梱包を解いたら、CD プレーヤーを電源に接続し、他のコンポーネントを接続しない状態でスイッチをオンされることをお勧めします。

起動モード(インジケーター[5]が点滅します)が短時間実行された後にリレー回路のかすかな動作音がすると、TR-CD2 は使用可能な状態になります。この状態で各種操作スイッチや接続端子に触れ、各種操作機能を作動させてみてください。他の機器は接続されていないので損傷する怖れはありません。充分に試して TR-CD2 の機能を理解したら、結線を行ってください。結線作業を行う際には必ず、TR-CD2 およびその他のコンポーネントの電源をオフにしてください。

3.1　前面パネル

1　CD ドロワー：

CD をここに、レーベル面を上に（データ面は下に）してセットします。

注意：　開いた状態の CD ドロワーを「ゆすって」、ドロワーのガタの具合を確かめるお客様が時折いらっしゃるようです。ドロワーが開閉時に引っ掛からないようにするために、ある程度のガタは必要であり、それを見込んだ設計になっていることをご了承下さい。

2　トラック番号表示 LED：

CD が読み込まれるとそのトラック数が、また、CD 再生中には現在のトラック番号が表示されます。CD 演奏開始からの時間あるいは CD の残り時間が表示されている場合、ここには何も表示されません。

3　プログラムモード　/　リピート表示 LED：

プログラムモード LED⇒　　　　プログラムモードの時に点灯します。
リピート表示 LED⇒　　　　リモコンを使用してリピートモードをオンにしたときに点灯します。

リピートを実行すると、プログラムモードが別途実行されていない場合は CD 全体がリピート再生され、リピートモードを解除するか、再生をストップするか、あるいは CD ドロワーをオープンするまで続きます。

4　演奏時間表示 LED：

リモコンあるいは本体前面の MODE ボタン[11]を押すことにより、この四桁のディスプレイに表示される情報を以下の 4 種類に変更することができます。

MODE 1:　演奏中のトラックの開始からの時間（例　2:45）
MODE 2:　CD の残り時間（例　－63:37）
MODE 3:　演奏中のトラックの残り時間（例　－5:23）
MODE 4:　CD 演奏開始からの時間（例　34:52）

5 動作状態表示 LED:

TR-CD2 の電源をオンにすると、内部の動作電圧が安定するまでの間、この LED が点滅します。演奏可能な状態になると当該 LED が点灯します。

6 OPEN ボタン:

このボタンを押して CD ドロワーを開閉します。当該ボタンを押すたびに、短時間 OPEN インジケーターの輝度が増します。

7 < / <<ボタン:

このボタンには、トラックの移動とサーチの 2 種類の機能があります。当該ボタンを短く1 回押すと現在演奏中のトラックの先頭に、2 回押すと 1 つ前のトラックに移動します。また、ボタンを長押しすると逆方向サーチになり、音声も出力されます。
ボタンが押されている間、その上の LED の輝度が増します。

8 > / >>ボタン:

このボタンには、トラックの移動とサーチの 2 種類の機能があります。当該ボタンを短く 1 回押すと次のトラックの先頭に移動します。また、ボタンを長押しすると順方向サーチになり、音声も出力されます。
ボタンが押されている間、その上の LED の輝度が増します。

9 START ボタン:

TR-CD2 にオーディオ CD がセットされている場合、このボタンを押すと演奏が開始され START LED の輝度が増します。また、CD 演奏中に START ボタンを押すと一時停止状態になり、START LED が点滅します。当該ボタンをもう 1 度押すと一時停止は解除され LED が再度点灯し、CD 演奏が再開されます。

10 STOP ボタン:

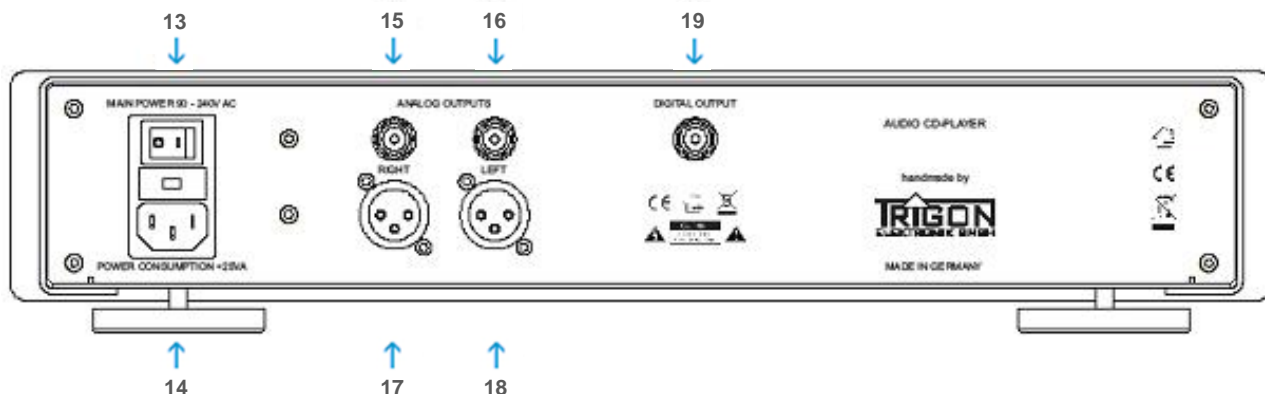
このボタンを押すと CD 再生が終了し、STOP LED の輝度が増します。

11 TIME ボタン:

このボタンを押すと、演奏時間表示の 4 つのモードが順次切り替わります。前述の[4]の説明をご覧下さい。

12 電源スイッチ:

このスイッチを押して TR-CD2 の電源をオン/オフします。

3.2 背面パネル端子図

<u>13 主電源スイッチ:</u>

「 | 」側に倒すとオン、「○」側に倒すとオフになります。

<u>14 電源ソケット:</u>

電源ケーブルを接続します。付属の電源ケーブルを先ずこのソケットに差し込み、その後コンセントへつないでください。

<u>15 および 16 アンバランス(RCA)出力:</u>

プリアンプやプリメインアンプのラインレベル入力(通常は CD、AUX あるいは LINE 入力と表記されている)に接続します。(ご使用のアンプの取扱説明書をご覧下さい。)

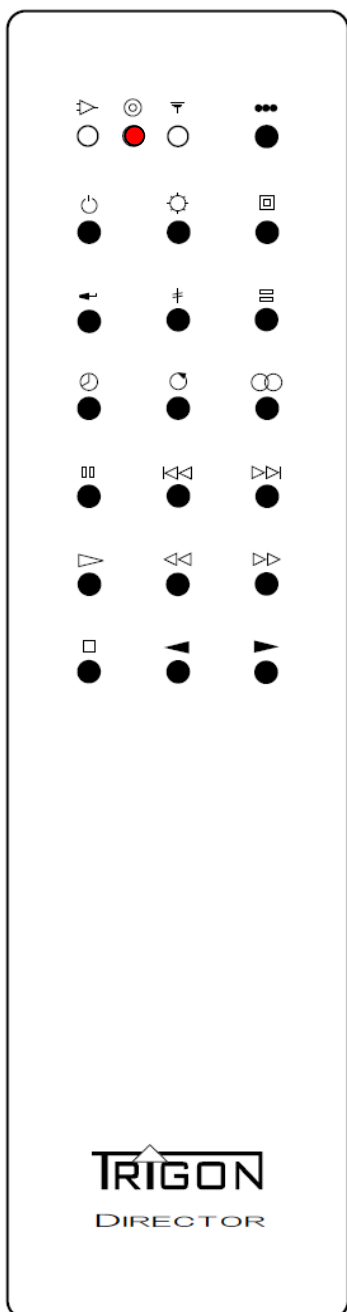
<u>17 および 18 バランス出力:</u>

プリアンプやプリメインアンプのバランス入力(通常は CD、AUX あるいは LINE 入力と表記されている)に接続します。(ご使用のアンプの取扱説明書をご覧下さい。)
お使いのアンプにバランス入力が装備されている場合には、接続ケーブルによる漏洩ノイズを防ぐためにも、当該端子の使用をお勧めします。

<u>19 S/P DIF 同軸デジタル出力:</u>

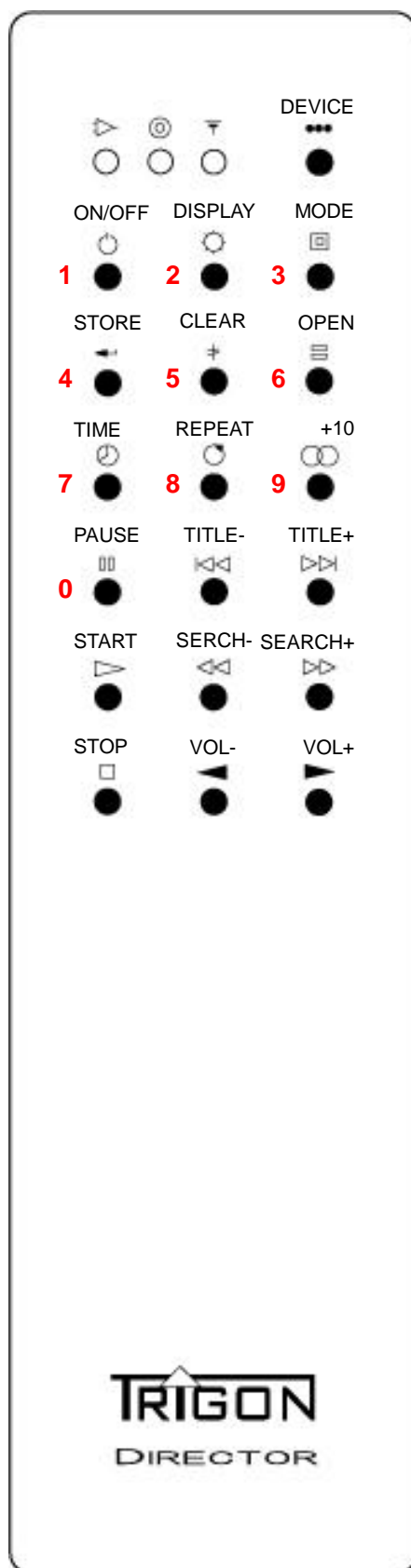
外部 DA コンバーターを使用する際に接続します。もし、使用されない場合は付属のターミネータを装着しておいてください。そのことによって周囲への高周波ノイズの散乱が防げます。

3.3 リモコン

TR-CD2 には、高機能なリモコン(TRIGON DIRECTOR)が付属します。

DIRECTOR は TRIGON 製品の統合的なリモコン装置です。
左図の◎ LED が点灯する場合に、TR-CD2 の操作が可能です。
操作キーを押した時に▷や⤒ が点灯する場合は、●●●ボタンを◎ LED が点灯するまで押してください。
これらのキーは、選択タイプが CD プレーヤーの時に利用できます。
TR-CD2 の以下の機能は、リモコンでのみ実行されます。

- ☼ DISPLAY
  このキーを押すことで、フロントディスプレイの照度を切り替えます(ON/OFF/DIMMER)
- ⚭ + 10
  このキーを押すことで、ダイレクトにトラック番号を入力できるモードへ切り替わります
- ↻ REPEAT
  このキーを押すことで、リピートのモードが切り替わります
- ⊡ MODE
  このキーを押すことで、プログラムモードへ切り替わります
- ◄┘ STORE
  このキーを押すことで、選択したトラック番号が格納されます
- ≠ CLEAR
  このキーを押すことで、格納したトラック番号が消去できます

DIRECTOR のキーが持つ機能は、次項の表示説明をご覧ください。

TR-CD2 におけるDIRECTORリモコンのキーレイアウト

ON/OFF キー

このキーを押すことで、スタンバイモードへの移行／復帰を行ないます。

DISPLAY キー

このキーを軽く押すことで、ディスプレイ表示が徐々に消えます。再度軽く押すことで表示が復帰します。表示が消えている状態で他のキーを操作すると、6 秒間だけ表示は復帰して、また暗くなります。

キーをおよそ 3 秒間押し続けると、表示の明るさを設定するモードへ移行します。設定値は 1-99 の範囲で選択可能で、矢印キー(TITLE- / TITLE+)を用いて、変更することができます。
新しく設定された値は自動的に保存されます。

MODE キー

このキーを押すことで、プログラミングモードに切り替わると同時に、表示部に[DISPLAY]LED が表示されます。現在装填されている CD の任意のトラックを任意の順番で再生するためには、矢印キーでトラック番号を選択し STORE キーを押すことでトラック番号が格納されます。各々のタイミングで CLEAR キーを押すことで、直前に格納されたトラックは消去できます。すべてのトラックの選択・格納が完了したら START キーを押すことで、格納された順番に再生が開始されます。
STOP キーを 1 度押すことで再生中のプログラムは停止することができます。再度 START キーを押すことで再開します。プログラムを完全に消去する場合は、MODE キーを 1 度押すか、STOP キーを 2 回押す、もしくはトレイを OPEN することで消去されます。

STORE キー

このキーを押すことで、プログラムモード時に選択したトラック番号が格納されます。

CLEAR キー

このキーを押すことで、プログラムモード時に選択したトラック番号が消去されます。

OPEN キー

このキーを押すことで、トレイの OPEN/CLOSE を行ないます。

TIME キー

このキーを押すことで、演奏時間表示が切り替わります。

REPEAT キー

このキーを押すことで、リピートモードの ON/OFF を行ないます。

+10 キー

このキーを押すことで、トラックをダイレクトに選択できる 10 キーモードになります。ディスプレイには 2 本の水平線が表示され、入力されるトラック番号が表示されます。下記の図のように各キーに数字が割り当てられますのでトラック番号を入力してください。2 桁のトラック番号は連続して入力可能です。

Numeral	Key	Numeral	Key	Numeral	Key
1	ON/OFF	2	Display	3	Mode
4	STORE	5	CLEAR	6	OPEN
7	TIME	8	REPEAT	9	10
0	PAUSE				

再生は数字の入力後に自動的に開始します。

TITLE- ／ TITEL+ キー

このキーを押すことで、トラックの前後スキップを行ないます。

SEARCH – ／ SEARCH+ キー

このキーを押すことで、トラック内の前後サーチを行ないます。

PAUSE キー

このキーを押すことで、再生の一時停止を行ないます。再開するときには START キーを押します。

START キー

このキーを押すことで、再生が開始されます。

STOP キー

このキーを押すことで、再生が停止します。

VOL- ／ VOL+ キー ◄ ►

TRIGON 製のプリアンプ、もしくはプリメインアンプを同時に使用している場合は、このキーを押すことでリモコンのモードを切り替えることなく音量の増減が行なえます。

4 動作しないときは

4.1 動作しないのですが？

電源プラグは正しく差し込まれていますか？

- 今一度、ご確認ください。

内部フューズは飛んでいませんか？

- 修理が必要となりますので、ご購入いただいた販売店までご連絡下さい。

4.2 音が出ないのですが？

接続しているアンプの入力選択は正しいですか？

- 正しい入力を選んでください。選択が正しい場合、アンプの別の入力へ TR-CD2 を接続して、それを選んでください。この状態でも音が出ない場合は、アンプ以降に何らかの問題がある可能性があります。

装填した CD はコンピュータ用のデータが書き込まれた CD-ROM ではありませんか？

- オーディオ用の CD を装填してください。

装填した CD の盤面が汚れていたり傷ついていたりしませんか？

- TR-CD2 が読み込みに失敗した場合は、表示が NO DISC になるか 000000 になります。その場合は新しくきれいな CD を使用してください。

4.3 ハム音が聞こえるのですが？

使用しているケーブルに接触不良の箇所はありませんか？

- コネクタ部や内部芯線の断線などが無いかを確認してください。

オーディオ・システムで生じるハム音は、システム中のいくつかのコンポーネントで、個別にアースが取られていることが原因である場合がよくあります。これは、チューナー、ビデオ、衛星放送受信機で、特によく見られます。アースの取られているアンテナ線が原因で、アンテナ線入力を経由したハム・ループが生じてしまうようなケースです。しかし、電源ケーブルのプラグからアース線を取り除くことが解決になるわけではありません。特殊な信号アイソレーターを使って、アンテナ線のアース接続を隠絶することができます。この器具は、チューナーや TV の音や映像に対して、逆効果を及ぼすことはありません。

4.4 リモコンが効かないのですが？

リモコンのモードがプリアンプモードになっていませんか？

- リモコンの●●● キーを押して⦾のLEDを点灯させてください。これが TR-CD2の操作モードです。

リモコンの電池は装填されていますか？もしくは電池容量が空になっていませんか？

- 新しい電池を装填してください。

距離が離れすぎていませんか？

- 赤外線リモコンの使用可能距離はおよそ 8m です。これは直射日光があたったりするとその距離が短くなりますので、本体が反応する距離からリモコンで操作してください。

5 テクニカルデータ

出力端子……アナログ - 1x RCA、1x XLR
……デジタル - 1x BNC
出力インピーダンス……47Ω
最大出力電圧……2V
S/N比……100 dB以上
ひずみ率……0.02 %未満
再生周波数帯域……20Hz - 20kHz (±1dB)
チャンネルセパレーション……80 dB以上 (1kHz)
付属品……DIRECTORリモコン、VOLT電源ケーブル
型番……TR-CD2/BK(ブラックフェイシア)、TR-CD2/SI(シルバーフェイシア)
重量……7.9kg
サイズ(端子含む)……h89mm x w440mm x d320 mm

仕様は改善のため予告無く変更される場合があります。

総輸入代理店

フューレンコーディネート

フリーダイヤル
0120－004884